

電流検出精度10倍

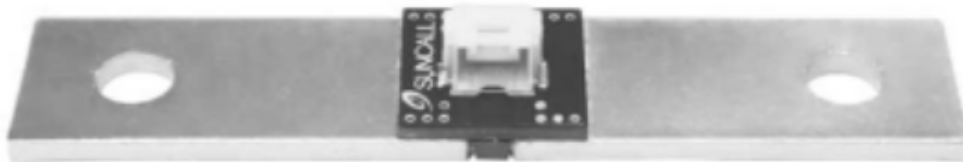
コネクタ付きシャントバスバー

【京都】サンコール 高5億円（23年3月期は同社従来品に比べ、は数千万円を予想）を電流の検出精度を約10倍に高めた電動車向け

配電部品のシャント（電流検出抵抗器）バスバーから高精度（電流検出抵抗器）バスバーを検出するにスバーを開発、受注を始めた。これまで電流は、位置決めが重要と

検出のためバスバー上は、新製品は端子ピンに立っていた端子ピンは、コネクタ基板を、コネクタ基板に置き換えることで、従来より高精度に計測できる位置で電流検出が可能になった。温度測定機能も搭載しており、2024年3月期に、同製品を含めたシャントバスバー全体で売上

サンコール 電動車用開発



サンコールが開発した高精度な電流検出が可能なコネクタ付きシャントバスバー（サンコール提供）

より、配線もしやすくなった。

シャントバスバーは、バッテリーやモーターをつないで電気を流すバスバーに、シャントを組み込んだもの。電流計測用途として、電気自動車（EV）の電池の充放電を管理するバッテリー制御システム（BMS）などに搭載される。

バスバーは同用途のワイヤハーネスと比べて省スペースで組み付けできることから、需要が伸びており、同社は成長分野と位置付ける。

品種の拡充や生産能力を増強を急ぎ、25年3月期にバスバー事業の売上高を、20年3月期比約2・2倍の16億7000万円に引き上げる計画だ。